

# 掛東学園だより

掛川工業高校、掛川特別支援学校、掛川東中学校、第一小学校、西山口小学校  
上内田小学校、すこやか幼保園、ひだまり幼保園、智光幼稚園、掛川のぞみ保育園  
掛川第一、第二地区、南郷地区、西山口地区、上内田地区まちづくり協議会

掛東学園の活動とは、

**「地域・学校・家庭の大人も子供も一緒に育ち、学び合う活動です。」**

今年初めの東中学校の「東陵だより」で、東中の石山校長先生もそのお便りの中で、掛東学園のことをこんなふうに紹介してくださいました。

子供たちをよりよく育てていくことをきっかけとして、  
子供も大人もよりよく生きていくことを目指す学び合い集団

学び合い集団ならば、今年の学びのテーマが必要だろうという事で、今年の学園のテーマを「ギガスクール構想について」という事にしました。

今年から、小中学校の児童・生徒一人一人にタブレットを持たせて、ICT教育を推進していくとするものですが、とにかくネットの活用については、さまざま功罪を問われます。

親も子供も、そして、地域の大人たちもこうしたネット環境にどう対応し、上手に付き合っていたらいいのか？を考えて行こうとするものです。

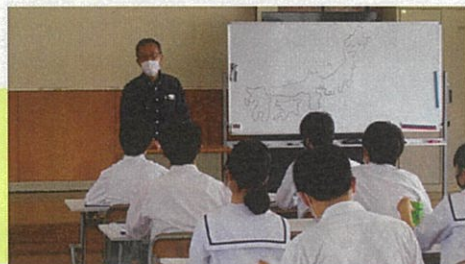


そして、これについて掛東学園では、地域が主体となって出来ることはないかと、コーディネーターが議論を進めてきました。例えば、西中学区で行っている「PTA相談室」のような窓口が出来ないか？という点。学園では、学校と家庭と地域が協力して、子どもたちのより良い育ちを支援するという目的がありますから、相互に問題を共有できる場を提供することも大事だと考えています。

# 東中「掛川学」講座

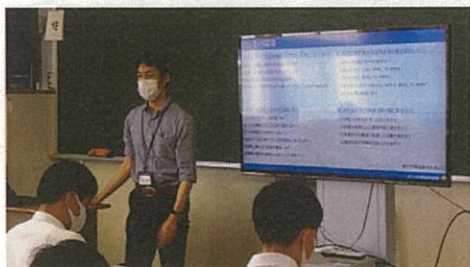
今年も東中学校で「掛川学」講座が開かれて、地域の講師の皆さんの講義が行われました。3年生のテーマは、「20年後の掛川考える。」で、年間を通じ総合学習の時間にカリキュラムが組まれます。先生方の話を聞いて生徒が自分なりのテーマで「20年後の掛川」を考えます。

JR掛川駅の「これっしか処」店長の中田繁之さんは、「これっしかここでしかないもの」のためのサービスは、商品の背景にあるストーリーを語ることに話されました。



市役所「シティープロモーション・移住促進係」の水谷真名美さんと三川菜美子さんは、これから掛川に住みたいと思ってもらえる街とは？について話してくださいました。

掛川市役所お茶振興課の掛川大介さんは、掛川の誇る「茶草場農法」を紹介されて、地域が誇るお茶の文化の継承について、話してくださいました。



掛川市役所環境政策課の標葉貴博さんは、掛川を取り巻く世界的な環境の変化や、それに対応する施策、注意点について、わかりやすく話してくださいました。

「掛茶料理むとう」の武藤太郎さんは、自ら「まちづくり」が趣味なんですと語り、掛川の魅力あふれる食文化とそれを支える生産者の努力を掛川愛いっぱい話してくださいました。



ウェディング司会者で、話し方講座の先生の太田浩美さんは、6/24(木)に、2学年全体に、キャリア教育の心構えとして、コミュニケーションの取り方、相手を大切にするお付き合いの仕方とともに、上手な「話し方、聞き方」の講話をしてくださいました。

講師の皆さん、本当にありがとうございました。

# 笑顔であいさつ

JR東海道線の上張踏切

ここは、毎朝毎晩、東中学校の生徒、約160人が通学する集中箇所です。

通学範囲は、上内田地区、杉谷を中心とした南郷地区、そして、青葉台の西山口地区の生徒たちです。

この通学の要所に、各地域のボランティアさん、東中PTAの「ふれあい委員会」の保護者さん、そして、学校の校長先生が、毎朝、交通指導と「笑顔であいさつ」運動のために、立哨で旗振り活動をしてれています。



PTA専用旗ボックス

去年までは、旗の引き渡しで他地区までいかねばならず、PTAも大変でした。

今年から、葛川区の区長さんの計らいと交通安全部の協力で、PTA用の旗の専用ボックスが設置されました。

葛川区の皆さん、西山口まちづくり協議会の皆さんにも、大変、お世話になりました、ありがとうございました。



毎朝、交替で旗振りに参加してくれているPTAの保護者の皆さん。



踏切手前で、前方の押しボタン信号が変わるのを待つ生徒たち。信号が変わる前に踏切に進入すると危険なのです。



南郷地区、葵町のボランティアの石野さんです。

毎朝、ありがとうございます。

# 全体研修会が開催されます！

来る11月24日（水曜日）夜19時より、生涯学習センター大ホールにて、掛東学園子ども育成支援協議会「全体研修会」が、現掛川日本語学校校長、元静岡大学特任教授の鈴木克壽先生をお招きして開催されます。

鈴木克壽先生は、以前、掛川北中学校の校長として中学校区の学園化に取り組み、以降も学校と地域、家庭の関わり合い方を研究なさってきました。そうした研究の成果を披露していただき、これからの掛東学園の進むべき道のひとつのあり方として示してくださっているものと思います。



6/24に開催された「推進委員会」の様子。関係されている皆さんの紹介を始め、学園の位置づけとは何かを討論していただきました。

## 鈴木克壽先生の講義の要旨

### 『変わって行く学校』

- 1、世相変化と学校…世の中から、無くなってしまったもの、変化したもの。
  - 2、学校という概念の変化…子どもの学ぶ場から様々な人が行きかう、生涯学習の場へ。
  - 3、人生卒論…おじいちゃんも、おばあちゃんもみんな登校できる、学び合う学校。
  - 4、学園化の歩み…小学校と中学校の連携と一貫教育について。
  - 5、地域の教育力の活用…出来る人が、出来る範囲で、楽しみながら。
- 時流の変化に流されて変わるのではなくて、みんなの力で積極的に「学校を変えて行こう。」

会長 守屋輝年雄（南郷まちづくり協議会長）

副会長 後藤芳一（掛川第一・第二まちづくり協議会長）

〃 石川敏裕（掛川東中学校PTA会長）

〃 平野良直（掛川第一小学校PTA会長）

事務局校長 石山哲也（掛川東中学校長）

事務局教頭 岡田智行（掛川東中学校教頭）

地域コーディネーター

福田浩文、馨 敏郎、寺田 諭、石山吉春（敬称略）